

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	春日部市 11214
地域名 (地域内農業集落名)	富多地域 (神間西、神間東、上吉妻、下吉妻、立野、榎、小平、櫛)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)		495.57 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積		495.57 ha
② 田の面積		426.59 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)		68.98 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計		68.88 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計		31.98 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計		350.75 ha
	うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	251.65 ha
(備考)		

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地域は、農業経営主の半数以上が70歳以上と高齢化が進むとともに、農業後継者も減少しているため遊休農地の増加が懸念される。後継者や経営規模を拡大したい農業者も少ないため、現状の自作農業者による農地利用を維持しつつ、地域内の意欲のある担い手の発掘や地域外からの担い手の参入など地域を支える農業者の確保が喫緊の課題である。今後は、農業者や集落営農組織の構成員の高齢化がさらに進むことが考えられることから、地域を支える農業者の確保が急務となる。

神間地区は、田が約108.64ha、畑が約15.94haであり、田の面積が多く水稻の作付けが多い地域である。また、道路が狭く、大型機械の通行が難しい現状があり、農地の集積・集約化や地域外経営体の参入などに向け区画の拡大と道路の拡幅が課題となっている。

櫛地区は、田が約61.04ha、畑が約12.93haであり、田の面積が多く水稻の作付けが多い地域である。従来は個々の自作農業者により農地の維持をしていたが、近年は集落営農の組織化により、地区内農地を耕作する受け皿となっている。また、農地の拡大を希望する担い手はいるものの、集積のためには畦畔の除去等による区画拡大などの集約方法が課題となっている。

小平地区は、田が約59.17ha、畑が約8.69haであり、田の面積が多く水稻の作付けが多い地域である。また、農地の集積・集約に向けて区画の拡大と道路の拡幅が課題であったが、地区の約6割の区域において埼玉型ほ場整備事業を実施し、これらの課題の解決に取り組んでいる。

上吉妻地区は、田が約58.09ha、畑が約5.99haであり、田の面積が多く水稻の作付けが多い地域である。個々の農業者による自作耕地が多い。上吉妻地区の田は区画面積が狭いため、作業の効率化や集積・集約化、担い手の誘致などのため区画の拡大が課題となっている。

下吉妻地区は、田が約43.03ha、畑が約9.56haであり、田の面積が多く水稻の作付けが多い地域である。個々の農業者による自作耕地が多い。下吉妻地区の田は区画面積が狭いため、作業の効率化や集積・集約化、担い手の誘致などのため区画の拡大が課題となっている。

榎地区は、田が約39.91ha、畑が約8.32haであり、田の面積が多く水稻の作付けが多い地域である。現在は自作農業者が多く、認定農業者との両方で農地の利用を維持している。地区内の大部分は区画整理によるほ場整備を実施し、農道の拡幅と用水のパイプライン化が完了している。

立野地区は、田が約56.71ha、畑が約7.55haであり、田の面積が多く水稻の作付けが多い地域である。現在は自作農業者が多く、認定農業者との両方で農地の利用を維持している。地区内の大部分は区画整理によるほ場整備を実施し、農道の拡幅と用水のパイプライン化が完了している。

【地域の基礎的データ】
農業者数:224人(うち70歳以上142人、63%)、中心経営体数:12人(うち認定農業者9人、地域外認定農業者3人)
主な作物:水稻、野菜

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

将来は、認定農業者を中心とした担い手に、農地の出し手の確認及び農地の配分・再配分について、持続的な話し合いを行い、農地の集積・集約化を図り、水稻と野菜を中心に引き続き農地を守っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針					
地域内農地は、担い手の経営意向を踏まえながら、担い手に対し段階的に集約化を進める。その際、所有者の貸付意向時期にも配慮し、積極的に農地中間管理機構を通じた貸借を促進する。					
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標					
現状の集積率	11.5	%	将来の目標とする集積率	56.0	%
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標					
現在の自作農業者による農地利用を維持しつつ、各農業者の意向の変化に対応できるよう持続的な話し合いを行い、認定農業者や法人等へ農地の集積・集約化を段階的に進めて行く。					

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組					
現在の自作農業者による農地利用を維持しつつ、各農業者の意向の変化に対応できるよう持続的な話し合いを行い、認定農業者や法人等へ農地の集積・集約化を段階的に進めて行く。					
(2)農地中間管理機構の活用方法					
集積・集約化を進めるにあたっては、積極的に農地中間管理機構を通じた農地の貸借を促進していく。その際、担い手の経営規模の意向や所有者の貸付意向にも配慮する。					
(3)基盤整備事業への取組					
地域内農地において、担い手の経営意向や、農地の集積・集約状況を踏まえ、地域の実情に沿った簡易な基盤整備を検討する。特に区画が小さく農道が狭いほ場では、農地の集積・集約化や担い手の参入に向けた課題を解決するため、埼玉型ほ場整備事業の活用を検討していく。					
(4)多様な経営体の確保・育成の取組					
地域内の担い手とその後継者の確保・育成をしていくとともに、近隣地域からの多様な経営体の参入調整も行い、地域内農業者の意向を踏まえながら、市及びJAと連携し担い手を確保する。特に、まとまった農地については地域外の法人参入も視野にいれ検討する。					
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組					
地域内の作業効率化や遊休農地の発生防止を図るため、適宜必要となる作業について農業支援サービス事業者等の作業委託を活用する。					
以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)					
☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等	
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他	
【選択した上記の取組内容】					
⑦耕作が出来なくなった農地の解消を図るため、農地の集積・集約化をするとともに、多面的機能支払交付金も活用し、農道や水路の管理の効率化も進めながら、農村環境の維持を図る。					

4 地域の農業を担う者一覧(目標地図に位置づける者)

別紙のとおり

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	埼玉みずほ農業協同組合	刈り取り	大豆・そば等

6 目標地図(別添のとおり)

(留意事項)

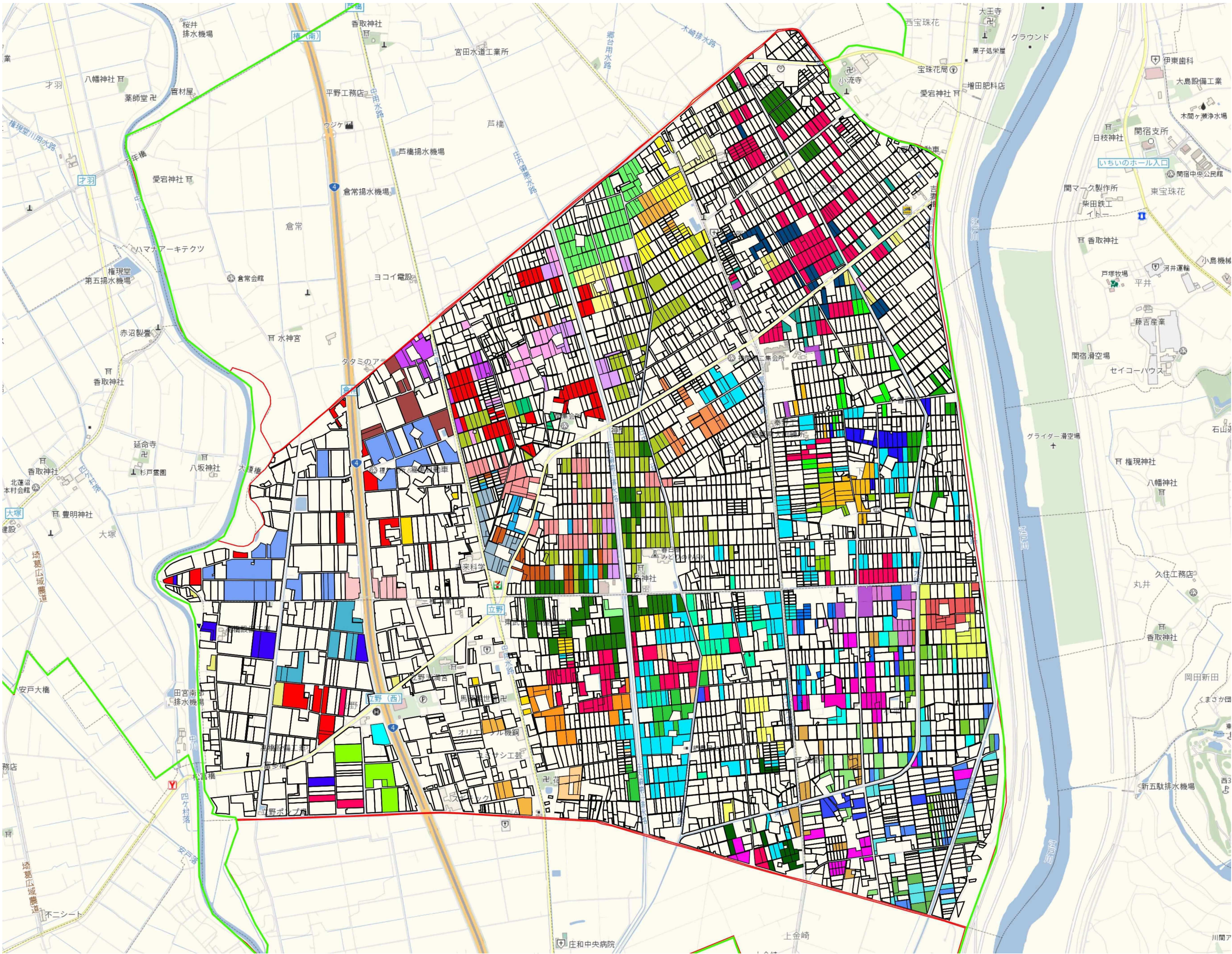
農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年)			
			経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示
1	認農	認農A	施設野菜、水稻	14.92 ha	ha	施設野菜、水稻	21.36 ha		認農A
2	認農	認農B	施設野菜、水稻	14.37 ha	ha	施設野菜、水稻	17.19 ha		認農B
3	認農	認農C	施設野菜、水稻	8.92 ha	ha	施設野菜、水稻	8.92 ha		認農C
4	認農	認農D	施設野菜、水稻	2.31 ha	ha	施設野菜、水稻	4.34 ha		認農D
5	認農	認農E	水稻、施設野菜	3.16 ha	ha	水稻、施設野菜	3.16 ha		認農E
6	認農	認農F	施設野菜・水稻	2.35 ha	ha	施設野菜・水稻	2.56 ha		認農F
7	認農	認農G	麦、水稻	2.30 ha	ha	麦、水稻	2.30 ha		認農G
8	認農	認農H	施設野菜、水稻	2.16 ha	ha	施設野菜、水稻	2.16 ha		認農H
9	認農	認農I	露地野菜、水稻	2.14 ha	ha	露地野菜、水稻	2.14 ha		認農I
10	認農	認農J	施設野菜、水稻	1.18 ha	ha	施設野菜、水稻	1.64 ha		認農J
11	認農	認農K	施設野菜、水稻	1.34 ha	ha	施設野菜、水稻	1.34 ha		認農K
12	認農	認農L	施設野菜、水稻	1.26 ha	ha	施設野菜、水稻	1.26 ha		認農L
13	認農	認農M	水稻	0.42 ha	ha	水稻	0.42 ha		認農M
14	利用者	利用者A	施設野菜、水稻	16.92 ha	ha	施設野菜、水稻	17.39 ha		利用者A
15	利用者	利用者B	麦、水稻	7.03 ha	ha	麦、水稻	8.23 ha		利用者B
16	利用者	利用者C	施設野菜、水稻	0.94 ha	ha	施設野菜、水稻	8.19 ha		利用者C
17	利用者	利用者D	露地野菜、水稻	0.00 ha	ha	露地野菜、水稻	5.20 ha		利用者D
18	利用者	利用者E	水稻	4.16 ha	ha	水稻	4.19 ha		利用者E
19	利用者	利用者F	水稻	3.39 ha	ha	水稻	3.39 ha		利用者F
20	利用者	利用者G	施設野菜、水稻	2.28 ha	ha	施設野菜、水稻	3.20 ha		利用者G
21	利用者	利用者H	水稻	2.13 ha	ha	水稻	2.98 ha		利用者H
22	利用者	利用者I	水稻	2.23 ha	ha	水稻	2.72 ha		利用者I
23	利用者	利用者J	水稻	1.83 ha	ha	水稻	2.66 ha		利用者J
24	利用者	利用者K	水稻	2.55 ha	ha	水稻	2.55 ha		利用者K
25	利用者	利用者L	水稻	1.59 ha	ha	水稻	2.53 ha		利用者L
26	利用者	利用者M	水稻	2.49 ha	ha	水稻	2.49 ha		利用者M
27	利用者	利用者N	水稻	2.45 ha	ha	水稻	3.47 ha		利用者N
28	利用者	利用者O	施設野菜、水稻	2.43 ha	ha	施設野菜、水稻	2.43 ha		利用者O
29	利用者	利用者P	水稻	2.36 ha	ha	水稻	2.36 ha		利用者P
30	利用者	利用者Q	施設野菜、水稻	2.26 ha	ha	施設野菜、水稻	2.34 ha		利用者Q
31	利用者	利用者R	水稻	1.97 ha	ha	水稻	2.34 ha		利用者R
32	利用者	利用者S	水稻	2.28 ha	ha	水稻	2.28 ha		利用者S
33	利用者	利用者T	施設野菜・水稻	2.32 ha	ha	施設野菜・水稻	2.24 ha		利用者T
34	利用者	利用者U	水稻	2.11 ha	ha	水稻	2.11 ha		利用者U
35	利用者	利用者V	水稻	1.49 ha	ha	水稻	2.08 ha		利用者V
36	利用者	利用者W	施設野菜、水稻	1.97 ha	ha	施設野菜、水稻	2.07 ha		利用者W
37	利用者	利用者X	水稻	1.77 ha	ha	水稻	2.07 ha		利用者X
38	利用者	利用者Y	水稻	2.01 ha	ha	水稻	2.05 ha		利用者Y
39	利用者	利用者Z	水稻	2.04 ha	ha	水稻	2.04 ha		利用者Z
40	利用者	利用者AA	水稻	2.00 ha	ha	水稻	2.00 ha		利用者AA
41	利用者	利用者AB	施設野菜、水稻	1.98 ha	ha	施設野菜、水稻	1.98 ha		利用者AB
42	利用者	利用者AC	水稻	2.01 ha	ha	水稻	1.94 ha		利用者AC
43	利用者	利用者AD	施設野菜、水稻	1.77 ha	ha	施設野菜、水稻	1.91 ha		利用者AD
44	利用者	利用者AE	水稻	1.80 ha	ha	水稻	1.80 ha		利用者AE
45	利用者	利用者AF	施設野菜、水稻	1.77 ha	ha	施設野菜、水稻	1.77 ha		利用者AF
46	利用者	利用者AG	水稻	1.72 ha	ha	水稻	1.72 ha		利用者AG
47	利用者	利用者AH	施設野菜、水稻	1.70 ha	ha	施設野菜、水稻	1.70 ha		利用者AH
48	利用者	利用者AI	施設野菜、水稻	1.77 ha	ha	施設野菜、水稻	1.67 ha		利用者AI
49	利用者	利用者AJ	水稻	1.72 ha	ha	水稻	1.67 ha		利用者AJ
50	利用者	利用者AK	水稻	1.61 ha	ha	水稻	1.61 ha		利用者AK
51	利用者	利用者AL	施設野菜、水稻	1.59 ha	ha	施設野菜、水稻	1.59 ha		利用者AL
52	利用者	利用者AM	水稻	1.32 ha	ha	水稻	1.56 ha		利用者AM
53	利用者	利用者AN	水稻	1.55 ha	ha	水稻	1.55 ha		利用者AN
54	利用者	利用者AO	水稻	1.55 ha	ha	水稻	1.55 ha		利用者AO
55	利用者	利用者AP	水稻	1.49 ha	ha	水稻	1.52 ha		利用者AP
56	利用者	利用者AQ	水稻	1.22 ha	ha	水稻	1.22 ha		利用者AQ
57	利用者	利用者AR	水稻	1.19 ha	ha	水稻	1.19 ha		利用者AR
58	利用者	利用者AS	水稻	1.26 ha	ha	水稻	0.51 ha		利用者AS
59	利用者	利用者AT	水稻	0.47 ha	ha	水稻	0.47 ha		利用者AT
		計 59経営体		163.34 ha	ha		195.32 ha		



- 目標地図(素案)
- 認農M
 - 認農I
 - 利用者AM
 - 利用者E
 - 認農E
 - 利用者M
 - 利用者C
 - 利用者AH
 - 利用者AO
 - 利用者N
 - 利用者AI
 - 利用者AD
 - 利用者AL
 - 利用者O
 - 利用者W
 - 認農H
 - 利用者AF
 - 認農J
 - 利用者B
 - 認農L
 - 利用者R
 - 利用者AA
 - 利用者U
 - 利用者AT
 - 認農C
 - 利用者S
 - 利用者AR
 - 認農K
 - 利用者AS
 - 利用者K
 - 利用者AG
 - 利用者AC
 - 利用者AK
 - 利用者V
 - 利用者Q
 - 利用者AJ
 - 利用者I
 - 利用者X
 - 認農D
 - 利用者L
 - 利用者J
 - 利用者T
 - 利用者H
 - 利用者F
 - 利用者Y
 - 利用者P
 - 利用者AB
 - 利用者AP
 - 認農F
 - 利用者AE
 - 認農G
 - 利用者AQ
 - 利用者Z
 - 利用者AN
 - 利用者G
 - 利用者A
 - 認農A
 - 認農B
 - 利用者D